

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度謙信公アカデミー評議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

①上越学生寮奨学金の現況等について（公開）

②上越学生寮奨学金貸付の審査について（非公開）

## 3 開催日時

令和5年6月22日（木）午後2時00分から

## 4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟3階 大会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

上越学生寮奨学金貸付の審査については、「個人に関する事項」を審議するため非公開としました。

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：林泰成、大久保明子、岡村勝義、笠原博、熊木輝美、中西聡

・事務局：早川教育長、市川教育部長、教育総務課瀧本課長、佐藤副課長、秋山係長、  
八木主事

## 8 発言の内容

### (1) 開会

(佐藤副課長)

ただ今から、令和5年度謙信公アカデミー評議会を開会いたします。評議員の皆様には、ご多用の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

私は、上越市教育委員会教育総務課副課長の佐藤と申します。議事に入るまでの間、司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## (2) 委嘱状・任命書交付

(佐藤副課長)

はじめに、委嘱状及び任命書を交付いたします。

本年度は評議員の改選に当たり、謙信公アカデミー条例第 8 条及び第 9 条の規定に基づき、ご出席の皆様へに評議員への就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただきました。

また、塾長につきましては、謙信公アカデミー評議会規則第 2 条の規定に基づき、上越教育大学の学長であります林泰成様にお願いいたしました。

評議員と塾長の任期は、令和 5 年 5 月 15 日から令和 7 年 5 月 14 日までの 2 年間であります。

### 【委嘱状・任命書交付】

## (3) 挨拶

(佐藤副課長)

続きまして、早川教育長がご挨拶を申し上げます。

(早川教育長)

今日は大変お忙しい中、謙信公アカデミー評議会にお集まりいただきありがとうございます。6 月も終わりに近づき、梅雨らしい天候になって参りました。

今朝のNHKのニュースで、新潟県の職員採用試験の応募者が激減してきているという話がありました。実は、教職員の受験者も減ってきています。

若者の志向が変わってきて、公務員離れが起こっており、民間の方に流れていっています。地元に残って様々な職種の中で自分の生きる道を選択することは大変良いことですが、新潟県はなかなか若者の流出が止まりません。また後程お話しさせていただきますが、新しい奨学金の返還支援制度は、上越市に戻って働いてもらいたいという願いから生まれた制度で、上越学生寮奨学金にも適用されます。

この上越学生寮奨学金につきましては、平成 13 年度から 20 数年続いている制度でございます。

上越地域出身で、学業や人物ともに優秀な大学生や大学院生等を支援し、有為な人材を育成するということを目標として、累計 171 人に活用されています。

今年度は 16 人の方から応募がありました。ぜひ、地域を担う人材、これからの日本の将来を担う若い人材の育成に、この制度が活用されてほしいと願っています。

本日は限られた時間ではありますが、皆様からそれぞれの立場で忌憚のないご意見をお聞きして、この制度を有意義に活用し、次世代の人材の育成に役立てていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(佐藤副課長)

続きまして、林塾長からご挨拶をいただきます。

(林塾長)

上越教育大学の林でございます。今ほどご指名をいただきましたので、昨年に引き続き、塾長をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

公務員や教職員の応募者が減少しているという話が教育長からありましたが、昨年度の全国の出生者数が 77 万人台だったらしく、初めて 80 万人を下回ったということで新聞に出ておりました。

5 年前に将来子どもが減っていくという予測が出ており、そのときの令和 4 年度の出生者数は 88 万人という予想でした。それが実際には見込みよりもさらに 11 万人ほど少なくなっており、これは恐るべきことだと思います。

この子どもたちが大学に入学する年齢になる時には、平均的な大きさの大学で約 240 校余ると日経新聞の記事に出ておりました。これも恐るべきことだと思います。

一生懸命学生を育てたいと思っておりますので、教育委員会や地域の皆様とも協力しながら、地域を盛り上げることを考えていきたいと思っております。

奨学金の制度もまた、学生たちが進学して勉学に励むための一つの支えになると思いますので、この場で応募された全員にあげたいとは思いますが、基金に限りはありますので、できる限り公正・公平な観点から採用される学生を決定するという一方で、評議員の皆様にはご審議をお願いしたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(佐藤副課長)

ありがとうございました。続きまして、評議員の皆様からも一言ずつご挨拶をいただきたいと存じます。

大久保評議員、お願いします。

(大久保評議員)

新潟県立看護大学の久保と申します。昨年度に引き続き、今年度も評議員をさせていただきます。ありがとうございます。

今年は昨年に比べて少し応募者数が少なかったようですが、熱心に応募書類を書いていただきましたので、選考には大変苦慮したところです。

この奨学金に採用された方には、有意義な学校生活を送っていただけるとありがたいなと思っております。

(佐藤副課長)

岡村評議員、お願いします。

(岡村評議員)

朝、神奈川県藤沢を出発して、12時ぐらいに上越市に到着しましたが、神奈川県に比べて過ごしやすいというのが第一印象です。

何年間かこの評議員をさせていただいておりますが、この制度を使って巣立った大学生、大学院生の方で、上越に帰ってこられた方は一体何人いらっしゃるのか、データがあれば教えていただきたいです。やはり、地元愛に目覚めて帰ってきて、地元に貢献するというのが、この制度が最終的に求めている姿です。

それから、私は神奈川大学の大学教員をしていましたが、学生は目の引くような地域で華やかに大学生活を過ごしたいという希望が強いと思います。この上越地方には、そのような地域的な魅力があるのだろうかと思うわけです。是非とも地域性をいかした、この上越地方にしかできないような大学のあり方というものも目指していただきたいです。

どうぞよろしく願いいたします。

(佐藤副課長)

笠原評議員、お願いします。

(笠原評議員)

寮友会の笠原でございます。今回、初めて委嘱状を頂戴いたしました。よろしく願いいたします。

16人の皆様のレポートを非常に緊張して見せていただきましたが、全体的に志が高いといたしますか、意欲が高いということで、非常に感心をいたしました。

非常に微力だと思いますが、これからも真摯に努めて参りますので、よろしく願いいたします。

(佐藤副課長)

熊木評議員、お願いします。

(熊木評議員)

有限会社熊木組の熊木でございます。よろしくお願いいたします。

私も何回かこの評議員をさせていただいております。毎回採点がとても大変で、メモを取ったり、採点をしてまた読み直して付け直しをしたりということが結構あります。先ほど学長さんがおっしゃられたように、全員にあげたいと思う気持ちで、いつも切ない思いをしながら、一方で、若い子たちの気持ちに触れるということが自分にとってとても良いことだと思いつつながら、毎年点数を付けさせていただいております。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(佐藤副課長)

中西評議員、お願いします。

(中西評議員)

上越市教育委員会の中西と申します。市の職員という枠で任命書をいただきました。

自分が18歳の頃の事を思い返しますと、そんなに志高く、地域のことなんて考えていませんでしたので、昨年もそうでしたが、若い人のレポートを読んでわくわくしながら、なおかつ緊張して採点をさせていただきました。

よろしくお願いいたします。

(佐藤副課長)

続きまして、事務局職員を紹介いたします。

#### 【事務局職員自己紹介】

#### (4) 議事

(佐藤副課長)

本日は、評議員6名全員の出席をいただいておりますことから、謙信公アカデミー評議会規則第3条第2項の規定「半数以上の出席」により、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

この後の議事進行は、謙信公アカデミー評議会規則第3条第1項の規定により、塾長が議長を務めることとなっておりますので、林塾長にお願いいたします。

(林塾長)

しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

「上越学生寮奨学金の現況等について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局説明】

(林塾長)

それでは、ただいまの説明について何か質問はありますか。

(評議員)

質疑なし

(林塾長)

続きまして「上越学生寮奨学金貸付の審査について」、事務局から説明をお願いします。

—以下、非公開—

(5) その他

(林塾長)

以上で、本日予定されていた議事は全て終了しました。

続いて「5 その他」に移ります。事務局から何かありますか。

(中西評議員)

昨今話題になっているA Iを利用して提出される学生も今後想定されるのではないかと危惧しているのですが、どのように対応すればいいのか、もしアドバイスがあればお聞きしたいです。

(林塾長)

上越教育大学でも話題にはなっていますが、大学としてはまだルールを決めておりません。A I等を使っていないことを確認するには、目の前でレポートを書いてもらうしかなく、難しい問題だと感じているところです。

(大久保評議員)

A I等を使っていることもあるかもしれませんが、親御さんや高校の先生に添削指導を受けている可能性もあるので、そういうことを踏まえた上での評価だと思っています。

本当に厳密にするのであれば、林塾長がおっしゃったように、目の前で試験形式でレポートを書いていただくか、そのレポートを基に面接をするなりしないといけないと思います。

(中西評議員)

ありがとうございます。

(6) 閉会

(林塾長)

以上で、本日の謙信公アカデミー評議会を終了いたします。

進行へのご協力ありがとうございました。

(市川部長)

閉会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

本日は、本年度の奨学生の採用について慎重にご審議いただきました。評議員の皆様にご心より感謝を申し上げます。

評価するという事は大変エネルギーを使うことであり、皆様には本当に丁寧に、真摯に一人一人のレポートを評価していただきました。これについても、心より敬意を表したいと思います。

本日の皆様のお話の中で、レポートを評価するにあたって、悩んでいる様子を認めたいというお話があり、とても素敵なお話だと感じて、個人的に大変心を打たれました。事務局としても、この審査の要領について課題をいただきましたので、しっかりと検討させていただきます。

いずれにいたしましても、我々も日々学びながら、よりよい行政を目指してまいりたいと考えておりますので、皆様には引き続きご支援をお願いして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

(佐藤副課長)

それでは、以上をもちまして令和5年度謙信公アカデミー評議会を閉会いたします。

評議員の皆様、本日はありがとうございました。

9 問合せ先

教育委員会事務局教育総務課企画係 TEL : 025-545-9262 (内線 1030)

E-mail : kyouikusoumu@city.joetsu.lg.jp